

持続可能な社会への取り組み

点検・不動産利活用

一般財団法人日本不動産研究所

第43回

2%の割合で減少が進行しており、歴史都市・京都のアイデンティティを脅かす重大な危機となつてゐる。

ング、指定された京町家のに対する保全・改修工事に対して費用の一部を助成することなどを行つことで、より、京町家の保全事業に協力の取り組みが進んでいます。



京町家のある町並み

じちに古都というのに、それがい歴史的風情が残されてい
る。京町家もその一つであり、市内を見渡すと、まるで過去の時代にタイムスリップしたかのような趣のある建物を確認することができる。

市内には、約4万
家が存すると言わね

市内には約4万棟の屋町については初期段階で市へ届け出をもらひしと、保建物が茶道体も検討家が存すると言われている。け出をしてもらひしと、保建物が茶道

町並みが魅力を高める

し、維持してきたからにはかならない。今後も魅力的な都市であり続けるためには、京町家のまちなみ並みが都市の魅力を高めているという点を京町家所有者や行政などが再認識する一方で、所有者が負担している京町家維持に対するコストの

新型コロナウイルス感染症により、一時期に比較して観光客は減ったものの、観光地としての人気は非常に高く、
19(令和元)年京都観光総合

京都文化の象徴である京町家の保全等の取り組みが活発になる」とを期待したい。